

## 重点評価

使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

### 1 総合評価の結果

建物名称	六会市民センター		
BEE (建築物の環境効率)	1.3	BEEランク	B+

### 2 重点項目への取組み度

重点項目	評価	劣る	よい
<b>地球温暖化への配慮 (ライフサイクルCO<sub>2</sub>)</b> 地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出削減対策に関する項目 LCCO <sub>2</sub> (ライフサイクルCO <sub>2</sub> ): 建設してから解体するまでの建築物の一生(ライフサイクル)で使われる資材・エネルギーをCO <sub>2</sub> 排出量 	<b>LCCO<sub>2</sub>排出率</b> 75%		
<b>ヒートアイランド現象の緩和</b> ヒートアイランド現象 (= 都市部の気温が周辺部よりも高くなる現象)を緩和する対策に関する項目	<b>スコア</b> 3.0		

### 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア (5点満点 平均スコア=3点)

地球温暖化への配慮	レベル	評価のポイント
LR3/1 地球温暖化への配慮	4.0	標準計算によるLCCO <sub>2</sub> (ライフサイクルCO <sub>2</sub> )排出率を評価
建設	LR2/2.1 材料使用量の削減	2
	LR2/2.2 既存建築躯体等の継続使用	3
	LR2/2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3
運用	Q1/2.1.3 外皮性能	3
	LR1/1 建物の熱負荷抑制	4
	LR1/2 自然エネルギー利用	3.5
	LR1/3 設備システムの高効率化	4.9
修繕 更新 解体	LR1/4 効率的運用	3
	Q2/2.2.1 躯体材料の耐用年数	3
ヒートアイランド現象の緩和	レベル	評価のポイント
Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	3	熱的な悪影響を低減する対策(敷地内へ風を導く、緑地や水面を確保する、建築設備による排気や排熱の位置等に配慮するなどにより暑熱環境を緩和する対策)を評価
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	3	温熱環境の事前調査、敷地外への熱的な影響を低減する対策、温熱環境悪化改善の効果の確認に関する取組み度合いを評価
関連項目	レベル	評価のポイント
LR2/1.1 節水	4	節水への取組み度合いを評価
Q3/1 生物環境の保全と創出	2	生物環境の保全と創出に関する配慮(立地特性の把握と計画方針の設定、生物資源の保全、緑の量・質の確保、生物環境の管理と利用など)を評価

主な指標および効果		新エネルギーの導入状況			
LCCO <sub>2</sub> の削減率 (= 1 - 'LCCO <sub>2</sub> 排出率')	25%	種類	有無	種類	有無
PAL値/省エネ対策等級(1~4) (工場用途は評価対象外)	用途	太陽光		バイオマス	-
	用途	定格出力 (11kW)	11.42	温度差熱	-
	用途			水力	-
	用途	太陽熱	-	地熱	-
ERR (設備システムの高効率化)	34.6%	風力	-		

設計上の配慮事項(自由記述)
計画建物は周辺との調和の為、離隔距離を充分取り、高さを低く抑えた。敷地内の巨木であるケヤキを残しこの敷地のイメージの保存を図った。又乳幼児からお年寄りまで幅広い年代の利用が考えられるので室内の仕上り出来るだけ自然材を使い、吸音や遮音にも配慮した。平面計画はシンプルに中廊下とし利用者がわかりやすい計画した。省エネの観点から内壁・天井、スラブに断熱材施工太陽光の利用、再資源化しやすい材料を使った。空調室外機等の騒音レベルの低減化を図る為植栽等の面積を出来るだけ広げた。